

受託分析：摩擦摩耗試験

【摩擦摩耗試験とは】

ボールをボールホルダに固定し、ホルダを摩擦係数測定アームに固定します。おもりで垂直荷重をボールホルダに印加し、固定治具に取り付けられた試料の上にそのボールホルダーを接触させます。

測定を開始すると、ディスクが回転しその時ボールとディスクの間に作用する摩擦力が、アームの水平方向のたわみに変化されます。

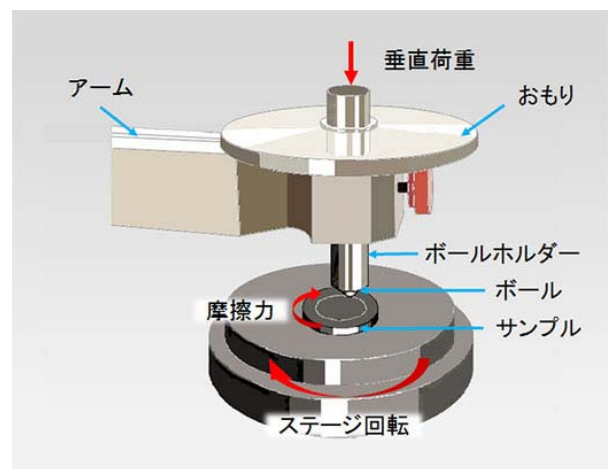
この変位をアームに取り付けられた変位センサによって計測し、垂直荷重とアームの剛性から摩擦係数として出力します。

【試験内容】

ボールと平板材の摩擦係数の測定と摩擦摩耗試験後のディスク摩耗痕断面積測定による耐摩耗性の評価や、EDX分析により付着物の評価が可能です。

常温摩擦摩耗試験機は、JISR1613の測定に対応できるようにトレーサブルな体系を確立しています。

有償でトレーサビリティ体系図を含めた測定報告書の発行も可能です。



【適用範囲】

・ 常温摩擦摩耗試験

垂直荷重：0.5～20N

しゅう動タイプ：回転動、往復動

回転半径：最大25mm(推奨3～10mm) / 最大往復距離:60mm(推奨5～10mm)

回転速度：4～500rpm

ボールサイズ： ϕ 5.5～6.5mm, ϕ 9.5～10.5mm

ディスクサイズ： ϕ 5-55mm、厚さ5～15 mm（角型の試料でも対応可）

環境チャンバー(温湿度)による環境制御。対応試験規格JIS R 1613,ISO 18535。

液中治具による潤滑環境制御（試料サイズに制約があります。）

= 用途 =

自動車・機械部品材料の評価、鉄鋼関連部材評価、DLC、TiN、CrN、Crメッキ、Niメッキ、アルミナ、窒化ケイ素、SiC、Cu、プラスチック等

ナノテック株式会社 表面分析センター lab@nanotec-jp.com

TEL:04-7135-6152(表面分析) / 04-7135-6111(代表) FAX:04-7135-6126

正規代理店：(株)ウエキコーポレーション、リックス(株)

SAC-E99 Ver.1